2011 年 9 月 2 日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城　裕一
コード番号：　4875　大証 Jasdaq
問合わせ先：　東京事務所代表　副社長
岡島　正恒
電話番号：　03-3519-5010
E-mail：　info@medicinova.com

CFO 及び新執行役就任に関するお知らせ

2011 年 9 月 1 日　米国　サンディエゴ発　-　メディシノバ（MediciNova, Inc.）（米国カリフォルニア州　サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一）は、下記のとおり CFO 及び執行役を任命しましたのでお知らせいたします。なお、ジェナーロ氏の CFO 就任に伴い、マイケル・コフィーは、暫定 CFO の任を解かれました。

記

１．氏名及び役職名

新 CFO

氏名　マイケル・ジェナーロ（Michael Gennaro）

役職　CFO (Chief Financial Officer 最高財務責任者)

新執行役

氏名　松田　和子

役職　チーフ・メディカル・オフィサー(Chief Medical Officer 最高医学責任者)

２．就任日
2011 年 9 月 2 日

なお、ジェナーロ氏及び松田氏の略歴は以下のとおりです。

【略歴】
マイケル・ジェナーロ

ラトガーズ経営大学院にて MBA、ラトガーズ大学にて数学の学士を取得。

ニュージャージー州及びカリフォルニア州の公認会計士の資格を持ち、国際公認会計士事務所アーサー・ヤング&Co でキャリアをスタートし、25 年間以上にわたり、多種にわたる科学技術系の公的機関または私企業で CFO または財務担当副社長を務めた実績を持つ。

松田和子

札幌医科大学において医学博士を取得。ハーバード大学公衆衛生学部にて、公衆衛生学修士取得。

日米両国の小児科医師免許を持つ。

ミシガン州立大学にて、内科、小児科のレジデンシーを修め、さらにロマ・リンダ大学で小児科レジデンシーを完了した。（日本でも研修完了）

南カリフォルニア大学、カーク医科大学で助教授を歴任し、その後ロサンジェルスの小児病院で小児科医として活躍。

2005 年　　メディシノバ　コンサルタント就任

2009 年　　メディシノバ入社

以上

メディシノバについて

メディシノバ（Medicinova, Inc.）は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の増悪、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症などの神経疾患治療薬 MN-166 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては http://www.medicinova.jp をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 （電話 1-858-373-1500)です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation

Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDAに対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。